



被害に遭われた方々の内容としては、以下のようなものがあげられます。

1. 小学生の子供が学校の校門前で友人と待ち合わせをしていたところ、遊歩道を通りがかった男性が近づいてきて自転車を蹴り倒し立ち去った。  
周りに人通りがなかったのと子供が携帯を持ち合わせていなかった為、警察へ連絡することもできず、防犯カメラもないので蹴り倒した人物を特定することもできない為、保護者も子供が外に遊びに行くことに対し不安を抱いている。
  2. 女性が帰路についていると、自転車に乗った小学校高学年から中学生ぐらいの男子に自宅付近まで後をつけられた。  
帰る道を変えても追いかけてくるので恐怖を感じ、たまたま立ち話をしていた知り合いに助けを求めたところ男子は逃走した。
  3. 小学生の子供と母親が犬の散歩中に手代木中学校横の通学路において、すれ違いざま男性に犬を蹴り上げられた。子供が犬のリードを手に巻きつけて散歩しており、被疑者が犬を車道に向けて蹴った為、子供も犬も命の危険が生じた。その為、子供は精神的損傷を負い、恐怖と不安から眠っても夜中何度も起きてしまうようになり、学校への登校や外出する事もままならなくなった。
- (被疑者は偶然親子を迎えて来た父親に追いかけられ、小中学校の通学路内を 15 分程逃走し松代交番へ逃げ入るも監視カメラがない、蹴った場面の目撃者がいないので証拠不十分とのことで警察より被害届を受け付けてもらうのに 1 ヶ月かかっている)
4. 女性が手代木公園の遊歩道を子犬と散歩中、男性から大声で怒鳴りつけられ恐怖を感じた。(前述の蹴り上げられた事件後 1 ヶ月以内におきています)
  5. 女性が松代公園で犬を散歩中、飼い犬が吠えてしまうため人を避けて散歩していたところ犬が吠えるのを見た男性が怒鳴りながら近づいてきた。女性が相手に犬が吠えてしまう事を何度謝罪しても「吠えるな！吠えるな」と怒鳴り、犬に恐怖を与える身振り手振りを行いながら追いかけてきた。

6、親子（母と子）が歩道を歩いていた際、クロスバイクのような自転車に乗った男性が後ろから「危ない！ だけ」と叫び、親子の目と鼻の先を速度を落とすことなく通り過ぎていった。

7、小学生の下校時、通学路を裸で歩いていた子供がいた。防犯カメラがなかった為に人物は特定できず懸案事項となっている。

#### ○陳情事項

上記の事例は、街灯や防犯カメラを設置することにより抑止効果が期待できるだけでなく、事件や事故発生時の証拠を得ることもできます。

地域の安全で安心な暮らしを守るために、街灯や防犯カメラの設置が必要不可欠となっています。

設置にあたっては、様々なご意見があることも承知しております。しかし、もし万が一、自分自身や家族が事件や事故の被害に遭われた場合には、防犯カメラの重要性を強く実感されることと思います。

特に、子供達や女性をはじめ動物の命や守るためにも、少なくとも学校周辺の通学路や公園通りなど、人通りの多い場所への街灯および防犯カメラの設置を要望します。地域で安心して生活できる環境を整えるためにも、ご理解いただき可能か限り実行していただけますようお願い申し上げます。